

精神障害者リハカウンセリング研究会 第4回ミーティング

日時：2008/6/26（木）17:00～

議題

プレゼン「障害の別による障害者就労支援について（ケースを通じて）」

発表者 渡邊 了さん 文京区障害者就労支援センター

今回は文京区障害者就労支援センターの渡邊さんに、知的障害者と精神障害者の就労支援事例を紹介していただき、知的障害者の就労支援と、精神障害者の就労支援の共通点と相違点についてディスカッションしたいと思います。

知的障害者への対応と精神障害者への対応では、かなりの違いがあることが僕と渡邊さんがお話している中でもだんだん分かってきました。実際の事例を紹介していただいて、皆さんで議論できるととても役立つのではないかと思います。

ディスカッション・意見交換

会の運営について

- ・メールリストの開設について
- ・Web サイトの開設について

次回の予定

今回は、荒川区障害者就労支援センター じょぶ・あらかわの長谷川雅之さんに、じょぶ・あらかわでの就労支援活動についてお話いただこうと考えています。内容について詳細が決まりましたら、また連絡差し上げます。

いまのところ夏休み明けて8月下旬～9月の木曜日を考えています。分かる範囲で結構ですので、ご都合を教えてください。

----- 切り取り -----

氏名 _____

	出欠 (・ ・ x のいずれかでつけてください)
8/28 (木)	
9/4 (木)	
11 (木)	
18 (木)	
25 (木)	

1. 知的障害者のケース

- 就労時情報 25才 男性 障害:知的・自閉傾向 家族:父子家庭 ADL:自立
区内福祉作業所利用(評定 1.4) 金銭管理:可 服薬:なし
- 就労見極め 基本的な社会習慣(挨拶・返事・報告・正確性等)
作業に関する能力(基本的作業能力・理解力・指示への従命等)
- 職業選択 本ケースの場合、職場での実習が先にあった。本ケースの推薦理由は、職場の作業内容が構造化と視覚・聴覚的に完成していたため、適応の可能性が高い、と判断した。
本人の意思確認は職場が好きか否か。同時に保護者へ就労前提での実習であり、不適の場合、次の支援を実施する事で了解を得た。
- 定着支援 当初、ユニフォーム等の裾上げ等は、作業所で支援。
職場への支援は、職場が受け入れてくれない為、一切なし。
定期的な職場(店長)への電話連絡及び本人・保護者への聞き取り。

2. 精神障害者のケース

- 就労時情報 29才 女性 障害:統合失調 服薬:リパダール 4mg/日 デジレブ 1mg/日
家族:両親と同居 区内作業所利用(安定し、PCも作業で使用)
- 就労見極め 作業所職員の判断(症状の安定・不調時の理解等) 支援Cでの面談
(社会性・指示内容理解等) 企業説明会同行や作業所職員からの聞き取り。
- 職業選択 本ケースは、特例子会社立上げ時の応募。職務内容は、軽作業及びPC業務。求人情報で本人の意思確認後、企業説明会で実際に見学。
応募前に再度面談を実施し、最終確認。
- 定着支援 特例子会社で企業内JCがいたため、職場への支援はなし。
就労当初は、定期的に電話連絡と職場訪問の実施。その後、本人とはメールで近況把握し、適宜利用していた作業所職員と連携して対応(本人の様子の評価と過去情報の確認)。

3. 知的・精神での相違について

[対応（主に本人）]

共通点: 社会性の確認 変化(職場・家庭)への支援 現場を本人に見せる事

相違点: 見通しや言葉遣い等の面接技法 保護者の存在 本人の意思確認

[マッチング（企業）]

共通点: 好きな仕事 作業内容(調整・他) 通勤圏 職場環境(人的・物理的)

相違点: 勤務時間調整 本人に合わせた環境調整(不調時対応含) 金銭面

4. 精神障害者への就労支援の難しさ（渡邊の場合）

- ・面接技法の違い
- ・職員の就労への姿勢
- ・発病前後の差異の本人理解
- ・予期しない変調への対応
- ・能力の見極め
- ・日常的な相談・支援体制の確立

精神障害者リハカウンセリング(PRC)研究会 第5回ミーティング

日時：2008/9/11（木）17:30～

資料

- ①第5回ミーティング予定表
- ②「じょぶ・あらかわのよもやま話」資料
- ③精神障害者リハビリテーション学会（11/22～24@東京・国立）のご案内
（抄録め切：9/21（日）正午：ネット経由で投稿）
- ④SST 学術集会（12/11・12@群馬・前橋）のご案内
（抄録め切：9/20（土）必着：E-mailでもOK）
- ⑤実践心理アセスメント：「精神科リハビリテーション」
（DHでのアセスメントについて、山崎が執筆しました。ご参照ください。）

議題

①「じょぶ・あらかわのよもやま話」～精神障害の方への就労支援の現場から～

発表者 長谷川雅之さん（荒川区障害者就労支援センター じょぶ・あらかわ）

- 障害者雇用の流れと、じょぶ・あらかわの紹介
- さまざまな失敗談！？
- 手帳が無くなる？
- リワークとの絡み
- あえて特例（子会社）にしない？
- おまけ）べてるで出会った当事者研究

②ディスカッション・意見交換

長谷川さんのじょぶ・あらかわでの経験談をもとにして、日頃の経験を皆さんでざっくばらんにお話できればと思います。

③会の運営について

- ・メーリングリストとBLOG作成のご報告
- ・今後取り上げて欲しいテーマについて

④次回の予定

次回は、精神障害者リハビリテーション学会とSST学術集会の発表の予演会を行う予定です。今のところ東大DHから、精神障害者リハビリテーション学会で、一般演題2つ、自主シンポジウム1つ、SST学術集会で演題1つを考えています。9/20（土：SST学会）、21（日：精リハ学会）が抄録め切ですので、是非皆さんも参加・発表していただくと良いと思います。

テーマは、「働きかけによってクレペリン検査の成績が改善した一例」「就労支援における障害別の対応の違いについて」「基本訓練モデル方式にベラック方式のエッセンスを取り入れたSSTセッション」を考えています。是非多くの方にご参加いただいて、御意見いただければ幸いです。日程は10月末～11月中旬で調整したいと思います。

精神障害者カウンセリング(PRC)研究会 第5回ミーティング

2008.9.11(木) 17:40~19:30

Rep: DH 石橋

1. 本日の流れ(DH 山崎)

2. 自己紹介(参加者24名)

長谷川(じょぶ荒川)、藤原(日立製作所)、長谷川(元 JAL 特例子会社)
Nr 西村、Nr 白沢、永瀬(富士ソフト企画・DH)、浅田(アース環境サービス・DH)
小山(飯田橋ハローワーク)、永野(ワークサポート杉並)、田中(銀杏企画)
松原(上智大 CPS)、五十嵐(元研修生・昭和大烏山病院)、西村(ホームいちょう)
森山(元研修生・足立区江北保健所・ホームいちょう)、金原(東大病院 PSW)
佐藤(ホームいちょう)、古川(DH)、山崎(DH)、浅井(DH)、永井(DH)、清水(DH)
大内(DH)、石橋(DH)、柴田(DH)

3. 「じょぶ・あらかわよもや話」 講師:じょぶ・あらかわ 長谷川氏

障害者雇用の流れと、じょぶあらかわの紹介

- ・ 障害者雇用率の変化と対象障害種の拡大
- ・ じょぶあらかわの支援内容

さまざまな失敗談!?

- ・ “生活の場”の支援
仕事で全力を使ってしまう疲れ果てる、休日が苦手なリズムを乱す。
所属感のもてる仲間作りが必要 就労支援センターが要に。
- ・ 支援センターを使って
面接練習、面接会での助言、就労条件の調整など包括的な支援が受けられた
就労過程の苦労を経験することで成長できる人もいる
- ・ 就労支援センターとハローワークの連携

手帳がなくなる?

- ・ 障害が軽くなったら手帳が取れなくなる?
- ・ 手帳を取る意義について
- ・ Open・Close のメリット・デメリット

- ・ 企業からみる障害者雇用について
 - ・ 企業側としては、雇用率のカウントに入れば短時間でも問題ない
 - ・ 障害のある人を雇用することに抵抗のある企業が多いのが現実
 - ・ 「フルタイムで働けない人に仕事を教えられない」という見方もある
 - ・ 短時間のアルバイト(クローズ)を活用するの一手

リワークとの絡み：藤原

- ・ 精神疾患を抱えている社員を支えていくので精一杯。新規雇用につながらない。
- ・ 鬱で休職中の人に支援者がついていないケースが多い

あえて特例（子会社）にしない？

- ・ 障害のある人を隔離しないように（例：コマツ）
- ・ 子会社と親会社の確執

4. まとめ

5. 会の運営について(アンケート配布)

6. 次回予定

日時：11/13（木） 17:30～19:30 * 会終了後懇親会を予定

内容：学会予演 ほか

「じょぶ・あらかわの支援よもやま話」

～精神障害の方への就労支援の現場から～

荒川区障害者就労支援センター じょぶ・あらかわ
精神保健福祉士 長谷川 雅之

障がい者雇用の流れとじょぶ・あらかわの紹介

さまざまな失敗談！？

手帳が無くなる？

リワークとの絡み（企業の実情）

あえて特例（子会社）にしない？

べてるで出会った当事者研究

あなたが乗る三輪車が、安定して進むために

